

2019年12月吉日

プレスリリース

茨城県笠間市笠間 978-4
公益財団法人 日動美術財団
笠間日動美術館

名品・珍品 お宝展

同時開催 写真公募展 2020【わたしの「たからもの」はこれ！】

1月2日(木) - 3月8日(日)



長瀬 剛《不動明王～怒りが悲しみに変わる時～》1998年

拝啓

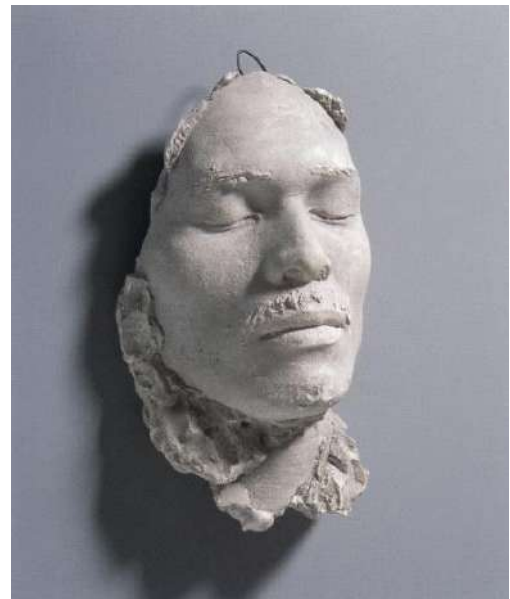
時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。この度、当館では表記展覧会を開催いたします。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。敬具



長崎系洋風画 (伝 平賀源内) 《薬草会議図》



作者不詳 《婦女弾琴図》



《佐伯祐三のライフマスク》1923年



長瀬剛 《乾杯》リトグラフ

■ 開催趣旨

新年の幕開けにふさわしく本展では、古今東西の名品・珍品をたっぷりとお目かけます。日本は鎖国により独自の文化が発達した一方、開国後は洋風文化を一気に受容し、様々な芸術を花開かせました。このたびは、キリスト教が禁教とされた時代に信徒が密かに使用した十字架や、江戸時代後期に制作された不可思議な洋風画、高度な技巧で世界的にも評価の高い自在置物、中国の伝統的建築の門口を飾る「対聯」など、なかなか見ることのできない逸品を展示します。また、政治家や、ミュージシャンとして活躍する長渕剛の書画など、本業とは異なる分野で才能を発揮した著名人のもうひとつの顔も紹介します。佐伯祐三が自ら制作をすすめたという生々しいライフマスクも必見です。どうぞ、じっくりとご鑑賞ください。

■ 展覧会概要

展覧会名 名品・珍品 お宝展

同時開催 写真公募展 2020 【わたしの「たからもの」はこれ！】

会 期 2020年1月2日(木) - 3月8日(日)

会 場 笠間日動美術館 企画展示館(茨城県笠間市笠間 978-4)

開館時間 午前9時30分より午後5時(入館受付は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(但し1月13日、2月24日は開館、1月14日、2月25日は休館)

入館料 大人1000円、65歳以上800円、大学・高校生700円、中・小生無料、20名以上の団体は各200円割引、障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は各半額割引

主 催 公益財団法人 日動美術財団 笠間日動美術館

後援予定 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／茨城放送／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／産経新聞水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

■ 会期中のイベント

・ギャラリートーク 各日14:00～企画展示館

1月18日、2月8日、2月29日(いずれも土曜)

・美術館で楽しむボランティア朗読会 14:00～企画展示館

1月26日(日)

【春風萬里荘のイベント】

・第20回 笠間の陶雛～桃宴～

1月22日(水)～3月1日(日)

春風萬里荘にて雛祭りをご覧ください。

■ 交通案内

[JR 利用]

・常磐線友部駅北口(9:55/10:50/11:50 発)より『かさま観光周遊バス』(100円)、または市内循環バスで約15分。「日動美術館入口」下車徒歩1分

・水戸線笠間駅より徒歩約25分(日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆)、
『かさま観光周遊バス』または レンタサイクルの利用が便利です。

[自動車利用]

- ・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6 km
- ・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8 km

[高速バス利用]

- ・秋葉原駅中央改札口前、東口交通広場 8 時 20 分発 約 2 時間「笠間稲荷神社入口」下車徒歩 5 分、片道 1600 円、往復 2800 円

■ 問い合わせ先（西尾・千葉）

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館

MAIL:m-nishio@nichido-museum.or.jp

TEL : 0296-72-2160 FAX 0296-72-5655

以上